

令和8年度

下水道事業会計当初予算説明資料

1. 予算の概要

(1) 収益的収支（税込）

はじめに収益的収支（下水道事業収益）について、営業収益は令和7年度当初予算と比較して22,426千円増の442,531千円を見込んでいます。主な内訳としては、収益の柱である下水道使用料（料金収入）は、調定見込水量の増加及び令和7年7月からの使用料の改定により、前年度比34,268千円増の422,626千円を見込んでいます。また雨水処理施設に係る費用を一般会計から繰入れる雨水処理負担金については、内水浸水想定区域図作成事業の減少により、前年度比11,740千円減の19,616千円を見込んでいます。

営業外収益については、前述した内水浸水想定区域図作成事業の国庫補助金等の減により、前年度比13,092千円減の44,438千円を見込んでいます。

以上から、下水道事業収益全体としては、前年度比9,334千円増の486,969千円を見込んでいます。

【収入比較表】

（税込・千円）

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減率 (%)
下水道事業収益	477,635	486,969	9,334	2.0
営業収益	420,105	442,531	22,426	5.3
下水道使用料	388,358	422,626	34,268	8.8
雨水処理負担金	31,356	19,616	▲ 11,740	▲ 37.4
その他営業収益	391	289	▲ 102	▲ 26.1
営業外収益	57,530	44,438	▲ 13,092	▲ 22.8
受取利息	1	2	1	100.0
国庫補助金	13,000	0	▲ 13,000	▲ 100.0
他会計補助金	328	284	▲ 44	▲ 13.4
長期前受金戻入	44,201	44,127	▲ 74	▲ 0.2
雑収益		25	25	-

次に収益的支出（下水道事業費用）について、営業費用は前年度と比較して15,435千円減の493,889千円を予定しています。減少の主な要因としては、内水浸水想定区域図作成事業の減により総係費が19,761千円減少して28,398千円となったこと等が挙げられます。

営業外費用については、支払消費税の見込が増加したことから、全体としては前年度と比較して493千円増の15,264千円を計上しています。

以上から、下水道事業費用全体としては、前年度比14,942千円減の514,153千円を計上しています。

【支出比較表】

(税込・千円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減率 (%)
下水道事業費用	529,095	514,153	▲ 14,942	▲ 2.8
営業費用	509,324	493,889	▲ 15,435	▲ 3.0
管渠費	24,706	25,886	1,180	4.8
ポンプ場費	12,386	12,908	522	4.2
流域下水道維持管理費	175,157	180,781	5,624	3.2
業務費	19,872	15,071	▲ 4,801	▲ 24.2
総係費	48,159	28,398	▲ 19,761	▲ 41.0
減価償却費	229,044	229,506	462	0.2
資産減耗費	0	1,339	1,339	-
営業外費用	14,771	15,264	493	3.3
支払利息	7,604	7,118	▲ 486	▲ 6.4
雑支出	0	2	2	-
支払消費税	7,167	8,144	977	13.6
予備費	5,000	5,000	0	0.0

以上の収支の見込から、令和8年度の損益（税抜）は30,340千円の純損失を見込んでいます。引き続き損失を計上する厳しい経営状況となっておりますが、前年度から19,640千円の改善も見込まれています。

【損益比較表】

(税抜・千円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減率 (%)
営業収益	384,772	404,089	19,317	5.0
営業外収益	57,530	44,438	▲ 13,092	▲ 22.8
収益合計	442,302	448,527	6,225	1.4
営業費用	484,678	471,747	▲ 12,931	▲ 2.7
営業外費用	7,604	7,120	▲ 484	▲ 6.4
費用合計	492,282	478,867	▲ 13,415	▲ 2.7
純利益/純損失 (収支差引)	▲ 49,980	▲ 30,340	19,640	▲ 39.3

(2) 資本的収支（税込）

はじめに資本的収入について、企業債は充当を予定している事業の予定に伴い前年度と比較して133,800千円増の150,800千円を予定しています。補助金については、国庫補助金が前年度比8,750千円減少したことに伴い前年度比8,739千円減の24,794千円を見込んでいます。負担金及び分担金については、上岩橋地区雨水ポンプ場整備事業の事業進捗に伴う他会計負担金の減などにより前年度比12,496千円減の10,078千円を見込んでいます。

以上から、資本的収入全体としては、前年度比112,565千円増の185,682千円を見込んでいます。

【収入比較表】

(税込・千円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減率(%)
資本的収入	73,117	185,682	112,565	154.0
企業債	17,000	150,800	133,800	787.1
補助金	33,533	24,794	▲ 8,739	▲ 26.1
国庫補助金	30,550	21,800	▲ 8,750	▲ 28.6
他会計補助金	2,983	2,994	11	0.4
負担金及び分担金	22,574	10,078	▲ 12,496	▲ 55.4
他会計負担金	20,165	7,930	▲ 12,235	▲ 60.7
受益者負担金及び分担金	2,409	2,148	▲ 261	▲ 10.8
その他資本的収入	10	10	0	0.0

次に資本的支出について、建設改良費は前年度比124,879千円増の269,941千円を見込んでいます。内訳としましては、下水道施設拡張費では、委託料が前年度比33,636千円増の85,586千円、工事費が前年度比84,434千円増の148,613千円。流域下水道建設費負担金が流域下水道の整備計画に伴い負担金が増額したことにより、前年度比2,720千円増の13,361千円。固定資産購入費は上岩橋地区雨水ポンプ場整備事業の用地買収完了に伴い前年度比5,599千円減の381千円となっています。

企業債償還金については、令和2年度に水道事業会計から借入した26,000千円の返還が完了したところから、全体としては前年度比29,201千円減の38,489千円を見込んでいます。

以上から資本的支出全体としては、前年度比95,676千円増の313,430千円を見込んでいます。

【支出比較表】

(税込・千円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減	増減率 (%)
資本的支出	217,754	313,430	95,676	43.9
建設改良費	145,062	269,941	124,879	86.1
下水道施設拡張費	128,441	256,199	127,758	99.5
流域下水道建設費負担金	10,641	13,361	2,720	25.6
固定資産購入費	5,980	381	▲ 5,599	▲ 93.6
企業債償還金	67,690	38,489	▲ 29,201	▲ 43.1
その他資本的支出	2	0	▲ 2	▲ 100.0
予備費	5,000	5,000	0	0.0

以上から資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は127,748千円の見込みとなり、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額27,640千円及び過年度分損益勘定留保資金100,108千円で補てんします。

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：

消費税及び地方消費税には、収入の際に消費税として受け取る「仮受消費税」と、支出の際に消費税として支払う「仮払消費税」があります。町が最終的に国へ申告・納付する税額は、この「仮受消費税」から「仮払消費税」を差し引いたものになります。もし、「仮払消費税」が「仮受消費税」よりも大きかった場合、その分は還付を受けることになります。

資本的収支では、支出として仮払消費税を支払っている一方、収入ではその性質上仮受消費税を受け取る額がほとんどありません。そのため、その還付額に相当する額を補てん財源として充当します。

過年度分損益勘定留保資金：

収益的収支の中には、実際には現金を支出しない費用（減価償却費）と、実際には現金が収入されない収益（長期前受金戻入）があります。この差額を損益勘定留保資金と呼び、その分は現金として手元にあることから、これを補てん財源として充当します。

2. 予定キャッシュ・フロー計算書

令和8年度当初予算に係る予定キャッシュ・フローについて、まず業務活動によるキャッシュ・フロー（収益的収支のキャッシュ・フロー）は138,994千円の黒字を見込んでいます。次に投資活動によるキャッシュ・フロー（資本的収支のうち企業債の収支（借入・償還）に係るものを除いたもの）は235,079千円の赤字を見込んでいます。最後に財務活動によるキャッシュ・フロー（企業債の収支に係るもの）は112,311千円の黒字を見込んでいます。

以上、合計すると令和8年度当初予算全体のキャッシュ・フローは16,226千円の黒字（現金増）見込となっています。

この結果、令和8年度末における下水道事業会計の資金残高は629,044千円を見込んでいます。

【令和8年度キャッシュ・フロー】

（千円）

・業務活動によるキャッシュ・フロー	138,994
・投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 235,079
・財務活動によるキャッシュ・フロー	112,311
令和8年度資金増減額	16,226
資金期首残高	612,818
資金期末残高	629,044

3. 予定貸借対照表

令和8年度末の総資産額は6,169,484,845円の予定で、令和7年度末と比較して109,457,659円増加する見込みです。このうち固定資産は3,735,549円の減少の見込みで、これは、新規に整備する予定額よりも、既存の資産が経年によって減少する減価償却費が大きいことによるものです。また、現金預金を含む流動資産については、現金預金の増加見込等から113,193,208円の増加見込みとなっています。

次に負債の額については、資産の取得のために借入れる企業債が増加したことから固定負債が114,309,463円増加の見込みとなります。また流動負債は3,035,607円の減少見込み、繰延収益についても前年度比1,563,940円の減少見込みですが、負債総額としては前年度比109,709,916円増の2,086,190,243円となります。

最後に資本の額については、損失額が多少改善されたとはいえ、依然として損失を計上していることから未処理欠損金（累積赤字）が増加したため、前年度比252,257円減の4,083,294,602円となっています。

【令和8年度貸借対照表】

(円)

資産の部		負債の部	
固定資産	5,497,903,022	固定負債	641,912,705
有形	4,423,145,606	企業債	641,912,705
無形	988,028,712	流動負債	39,452,537
投資その他	86,728,704	企業債	35,190,537
		未払金	2,616,000
		引当金	1,646,000
		繰延収益	1,404,825,001
		負債合計	2,086,190,243
流動資産	671,581,823	資本の部	
現金預金	629,043,823	資本金	4,705,657,762
未収金	42,538,000	自己資本	4,659,562,762
		一般会計出資金	46,095,000
		剰余金	▲ 622,363,160
		資本剰余	39,412,401
		利益剰余	▲ 661,775,561
		資本合計	4,083,294,602
資産総計	6,169,484,845	負債・資本総計	6,169,484,845

【貸借対照表比較表】

資産

(円)

項目	令和7年度	令和8年度	増減
固定資産	5,501,638,571	5,497,903,022	▲ 3,735,549
有形固定資産	4,402,580,185	4,423,145,606	20,565,421
無形固定資産	1,012,329,682	988,028,712	▲ 24,300,970
投資その他の資産	86,728,704	86,728,704	0
流動資産	558,388,615	671,581,823	113,193,208
現金預金	518,170,698	629,043,823	110,873,125
未収金	40,217,917	42,538,000	2,320,083
資産合計	6,060,027,186	6,169,484,845	109,457,659

負債・資本

項目	令和7年度	令和8年度	増減
固定負債	527,603,242	641,912,705	114,309,463
企業債	527,603,242	641,912,705	114,309,463
流動負債	42,488,144	39,452,537	▲ 3,035,607
企業債	38,488,602	35,190,537	▲ 3,298,065
未払金	3,399,542	2,616,000	▲ 783,542
引当金	600,000	1,646,000	1,046,000
繰延収益	1,406,388,941	1,404,825,001	▲ 1,563,940
負債合計	1,976,480,327	2,086,190,243	109,709,916
資本金	4,705,657,762	4,705,657,762	0
自己資本金	4,705,657,762	4,705,657,762	0
剰余金	▲ 622,110,903	▲ 622,363,160	▲ 252,257
資本剰余金	46,770,332	39,412,401	▲ 7,357,931
利益剰余金	▲ 668,881,235	▲ 661,775,561	7,105,674
資本合計	4,083,546,859	4,083,294,602	▲ 252,257
負債・資本合計	6,060,027,186	6,169,484,845	109,457,659

当初予算比較表（R7-R8）

（単位：千円、％）

	R7	R8	増減額	増減率 (R8-R7)/R7 ×100	備考
下水道事業収益	477,635	486,969	9,334	2.0%	
営業収益	420,105	442,531	22,426	5.3%	
下水道使用料	388,358	422,626	34,268	8.8%	有収水量（調定水量）見込 2,185,245m ³ （1,710m ³ 増）
雨水処理負担金	31,356	19,616	△ 11,740	-37.4%	雨水処理施設の維持管理経費に係る一般会計負担金 雨水施設の整備に係る企業債の利子償還金 2,177千円 雨水処理施設の維持管理費 17,439千円
その他営業収益	391	289	△ 102	-26.1%	指定工事店（新規1社、更新11社）、佐倉市流入負担金 行政財産使用料（東電電柱13本分）
営業外収益	57,530	44,438	△ 13,092	-22.8%	
受取利息	1	2	1	100.0%	下水道事業基金利息
国庫補助金	13,000	0	△ 13,000	-	
他会計補助金	328	284	△ 44	-13.4%	一般会計補助金（公費で負担すべき企業債の償還利息）
長期前受金戻入	44,201	44,127	△ 74	-0.2%	みなし償却をしていた資産の減価償却費相当額
雑収益	0	25	25	-	雇用保険料本人負担分
下水道事業費用	529,095	514,153	△ 14,942	-2.8%	
営業費用	509,324	493,889	△ 15,435	-3.0%	
管渠費	24,706	25,886	1,180	4.8%	
光熱水費	17	16	△ 1	-5.9%	河川監視カメラ電気代
通信運搬費	60	60		0.0%	河川監視カメラ通信回線使用料
委託料	8,724	16,952	8,228	94.3%	汚水管清掃、除草業務、河川監視カメラ映像配信業務、 特定事業場排水検査業務、水位監視システム保守委託、 ヒルズガーデン調整池清掃業務
賃借料	14	14		0.0%	水位監視システム利用料
修繕費	8,800	8,800		0.0%	マンホール蓋取り換え・高さ調整、公共樹・取付管等修繕、 河川監視カメラバッテリー交換
材料費	44	44		0.0%	常温合材
工事費	7,047	0	△ 7,047	-	
ポンプ場費	12,386	12,908	522	4.2%	
光熱水費	3,940	4,097	157	4.0%	ポンプ場及びマンホールポンプ電気料金、同水道料金
通信運搬費	548	628	80	14.6%	ポンプ場及びマンホールポンプ通信回線使用料
委託料	4,598	4,883	285	6.2%	ポンプ場及びマンホールポンプ維持管理業務委託
修繕費	3,300	3,300		0.0%	ポンプ場及びマンホールポンプ修繕費
流域下水道維持管理費	175,157	180,781	5,624	3.2%	
負担金	175,157	180,781	5,624	3.2%	印旛沼流域下水道維持管理費負担金
業務費	19,872	15,071	△ 4,801	-24.2%	
委託料	19,872	15,071	△ 4,801	-24.2%	公金徴収委託業務 コンビニ収納代行業務
総係費	48,159	28,398	△ 19,761	-41.0%	
給料	3,477	9,357	5,880	169.1%	損益勘定職員給料
手当等	2,775	5,082	2,307	83.1%	損益勘定職員諸手当
賞与引当金繰入額	504	1,089	585	116.1%	損益勘定職員翌年度6月支給見込み期末勤勉手当に係る引当金
報酬	155	155		0.0%	酒々井町上下水道事業運営審議会委員報酬
法定福利費	1,417	3,218	1,801	127.1%	損益勘定職員共済費
旅費	460	388	△ 72	-15.7%	研修等旅費
備消耗品費	145	145		0.0%	事務用品、書籍
燃料費	32	32		0.0%	非常用発電機燃料代
通信運搬費	27	27		0.0%	切手
委託料	33,139	3,300	△ 29,839	-90.0%	下水道台帳更新業務委託
手数料	19	19		0.0%	千葉銀行振込手数料
使用料及び賃借料	4,963	4,415	△ 548	-11.0%	企業会計システム、下水道台帳システム利用料
負担金	336	359	23	6.8%	各種協議会会費・負担金
補助金	1	1		0.0%	水洗便所設置利子補給
保険料	117	105	△ 12	-10.3%	庁用車自動車共済保険・自賠責保険、下水道事業賠償責任保険
公課費	8	8		0.0%	庁用車自動車重量税
貸倒引当金繰入額	347	347		0.0%	当該年度末不能欠損見込額
法定福利費引当金繰入額	96	210	114	118.8%	損益勘定職員翌年度6月支給見込み期末勤勉手当に係る共済金引当金
自動車需用費	141	141		0.0%	庁用車ガソリン代・車検整備料・修繕費
減価償却費	229,044	229,506	462	0.2%	
有形固定資産	204,991	205,621	630	0.3%	有形固定資産減価償却費
無形固定資産	24,053	23,885	△ 168	-0.7%	無形固定資産減価償却費
資産減耗費	0	1,339	1,339	-	
固定資産除却費	0	1,339	1,339	-	固定資産除却費

(単位：千円、%)

	R 7	R 8	増減額	増減率 (R8-R7)/R7 ×100	備考
営業外費用	14,771	15,264	493	3.3%	
支払利息	7,604	7,118	△ 486	-6.4%	
企業債利息	7,603	7,118	△ 485	-6.4%	企業債償還利息
長期借入金利息	1	0	△ 1	-	
雑支出	0	2	2	-	
その他雑支出	0	2	2	-	下水道事業基金利息積立
支払消費税	7,167	8,144	977	13.6%	
消費税及び地方消費税	7,167	8,144	977	13.6%	支払消費税見込額
特別損失	0	0		-	
その他特別損失	0	0		-	
予備費	5,000	5,000		0.0%	
資本的収入	73,117	185,682	112,565	154.0%	
企業債	17,000	150,800	133,800	787.1%	
企業債	17,000	150,800	133,800	787.1%	飯積地区下水道整備事業、上岩橋地区下水道整備事業、 管渠修繕改築事業、上岩橋地先雨水ポンプ場整備事業
出資金	0	0		-	
他会計出資金	0	0		-	
補助金	33,533	24,794	△ 8,739	-26.1%	
国庫補助金	30,550	21,800	△ 8,750	-28.6%	飯積地区下水道整備事業、上岩橋地区下水道整備事業 ストックマネジメント事業
他会計補助金	2,983	2,994	11	0.4%	一般会計補助金（公費で負担すべき企業債の償還元金）
負担金及び分担金	22,574	10,078	△ 12,496	-55.4%	
他会計負担金	20,165	7,930	△ 12,235	-60.7%	雨水処理施設の維持管理経費に係る一般会計負担金 雨水施設の整備に係る企業債の償還元金 3,918千円 雨水処理施設整備費 4,012千円
負担金及び分担金	2,409	2,148	△ 261	-10.8%	下水道事業受益者負担金
その他資本的収入	10	10		0.0%	
その他資本的収入	10	10		0.0%	
資本的支出	217,754	313,430	95,676	43.9%	
建設改良費	145,062	269,941	124,879	86.1%	
下水道施設拡張費	128,441	256,199	127,758	99.5%	
給料	3,811	10,554	6,743	176.9%	資本勘定職員給与
手当等	2,778	6,789	4,011	144.4%	資本勘定職員諸手当
法定福利費	1,647	3,654	2,007	121.9%	資本勘定職員共済費
旅費	5	0	△ 5	-	
備消耗品費	121	121		0.0%	設計用図書、消耗品
委託料	51,950	85,586	33,636	64.7%	工事積算システム保守料 上岩橋地先雨水ポンプ場整備事業（実施設計業務、境界測量業務） ストックマネジメント計画策定事業（計画策定業務、管路点検調査業務） 管渠修繕改築設計業務 上岩橋地区下水道整備事業（実施設計業務）
使用料及び賃借料	846	882	36	4.3%	積算PC、千葉県積算データ、大型コピー機、積算資料
工事費	64,179	148,613	84,434	131.6%	飯積地区下水道整備事業、上岩橋地区下水道整備事業、 成城台調整池進入路設置工事、管渠修繕改築工事
補償費	3,100	0	△ 3,100	-	
公課費	4	0	△ 4	-	
流域下水道建設費負担金	10,641	13,361	2,720	25.6%	
流域下水道建設費負担金	10,641	13,361	2,720	25.6%	印旛沼流域下水道建設費負担金
固定資産購入費	5,980	381	△ 5,599	-93.6%	
土地購入費	5,980	0	△ 5,980	-	
工具器具及び備品購入費	0	381	381	-	ノートPC購入（2台）
企業債償還金	67,690	38,489	△ 29,201	-43.1%	
企業債償還金	67,690	38,489	△ 29,201	-43.1%	
企業債償還金	41,690	38,489	△ 3,201	-7.7%	企業債償還元金
他会計長期借入金償還金	26,000	0	△ 26,000	-	水道事業会計借入金償還金
その他資本的支出	2	0	△ 2	-	
その他資本的支出	2	0	△ 2	-	
基金積立金	2	0	△ 2	-	
予備費	5,000	5,000		0.0%	

主 要 事 業

1. 下水道（污水管）整備事業（4条）

事業概要：

下水道事業計画に基づき污水管の整備を実施する。令和8年度は上岩橋地区の設計・整備及び飯積地区の舗装本復旧を実施する。

本事業の実施に伴い、上岩橋地区の整備については社会資本整備総合交付金、飯積地区の整備については地方創生污水处理施設整備推進交付金による国庫補助を受ける。またそれぞれの事業について、補助対象事業費の残額分及び単独事業費について企業債を充当する。

事業費：50,945千円

委託料

①上岩橋地区実施設計業務委託 13,310千円

工事費

②上岩橋地区污水管整備工事 18,431千円

③上岩橋地区舗装本復旧工事 3,916千円

④上岩橋地区污水管整備工事（単独分） 11,790千円

⑤飯積地区舗装本復旧工事 3,498千円

財源：

・国庫補助金

社会資本整備総合交付金 9,750千円

地方創生污水处理施設整備推進交付金 500千円

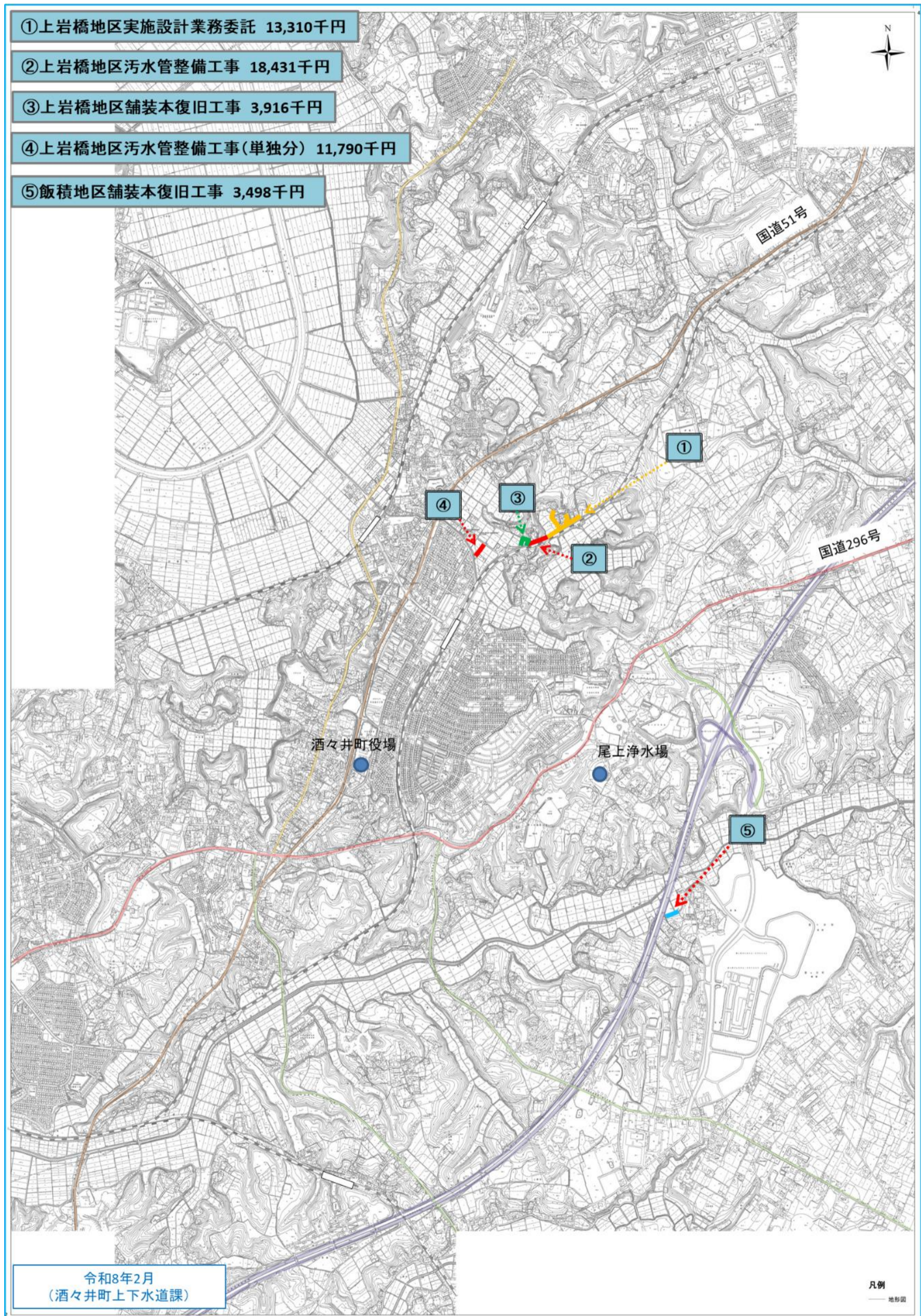
・企業債

下水道事業債 21,900千円

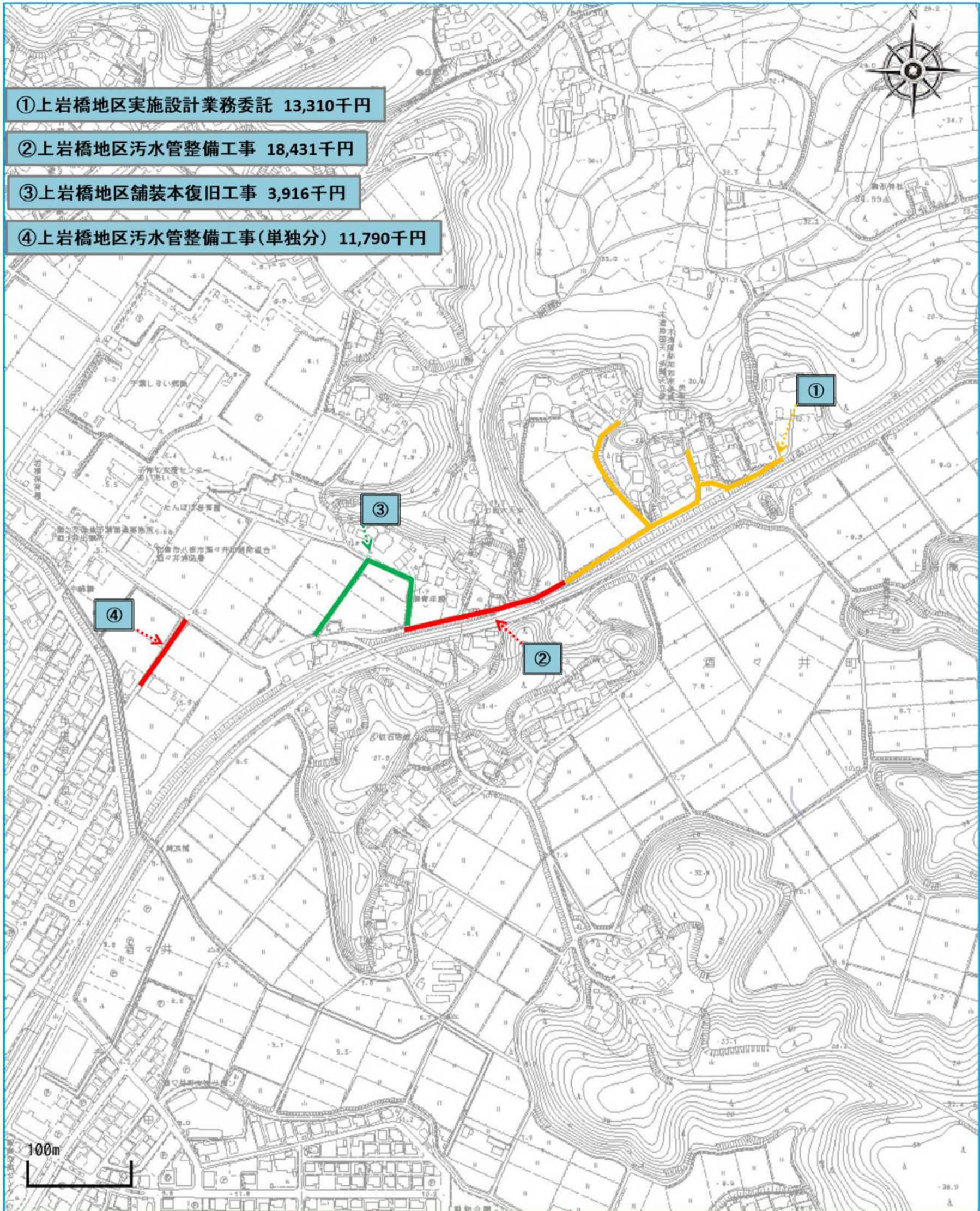
(千円)

	事業費	国庫補助金	企業債	一般会計繰入金	自己資金
①	13,310	1,950	1,950	0	9,410
②	18,431	6,450	6,450	0	5,531
③	3,916	1,350	1,300	0	1,266
④	11,790	0	11,700	0	90
⑤	3,498	500	500	0	2,498
計	50,945	10,250	21,900	0	18,795

下水道（污水管）整備事業（4条）箇所図



上岩橋地区污水管整備事業 拡大図



①上岩橋地区実施設計業務委託 13,310千円

②上岩橋地区污水管整備工事 18,431千円

③上岩橋地区舗装本復旧工事 3,916千円

④上岩橋地区污水管整備工事(単独分) 11,790千円

令和8年2月
(酒々井町上下水道課)

2. 上岩橋地区雨水ポンプ場整備事業（4条）

事業概要：

上岩橋地区トヶ崎の雨水対策事業として内水氾濫した水を中川排水路へ排出するための雨水ポンプ場の整備を実施する。令和8年度は実施設計業務と境界杭設置業務を実施する。なお、実施設計業務については令和7年度から令和8年度で債務負担行為を設定している。

事業費：10,054 千円

委託料 10,054 千円

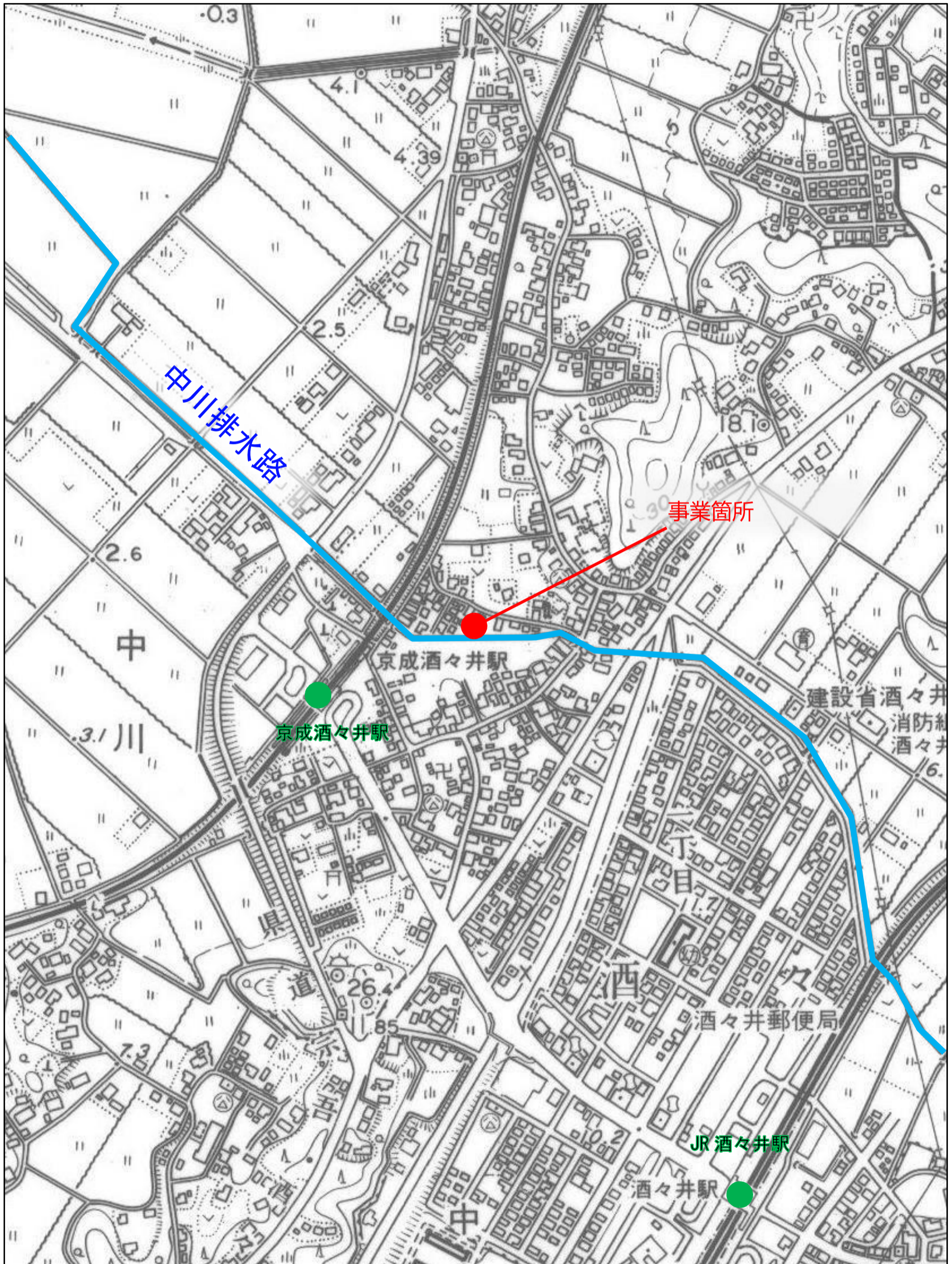
財源：

- ・ 企業債
 下水道事業債 9,100 千円
- ・ 一般会計繰入金 8 千円

(千円)

事業費	国庫補助金	企業債	一般会計繰入金	自己資金
10,054	0	9,100	8	946

上岩橋地区雨水ポンプ場整備事業（4条）箇所図



3. スtockマネジメント事業（4条）

事業概要：

下水道施設の老朽化に起因した、日常生活等に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を実施することにより、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、ストックマネジメント計画を策定し老朽化対策を実施する。

令和8年度は、令和7年度に実施した調査結果に基づく今後5年間の改築実施計画を策定する。

本事業の実施に伴い、防災・安全交付金による国庫補助を受ける。

事業費：49,215千円

委託料 49,215千円

財源：

・国庫補助金

防災・安全交付金 11,550千円

(千円)

事業費	国庫補助金	企業債	一般会計繰入金	自己資金
49,215	11,550	0	0	37,665

4. 管渠修繕改築事業（4条）

事業概要：

下水道管路の調査結果に基づき、緊急度が高い箇所の修繕改築設計及び工事を実施する。

本事業の実施に伴い、企業債を充当する。

また、本事業は令和8年度から令和9年度までの債務負担行為を設定する。

事業費：119,889千円

委託料 12,914千円

工事費 L=194.5m 106,975千円

財源：

・企業債

下水道事業債 119,800千円

(千円)

事業費	国庫補助金	企業債	一般会計繰入金	自己資金
119,889	0	119,800	0	89

管渠修繕改築事業（4条）箇所図

